

東日本大震災の人口移動への影響

(住民基本台帳人口移動報告(平成23年3~8月期)の結果から)  
(要約)

平成23年6~8月期は、福島県のみ転出超過、岩手県及び宮城県は転入超過に

● 平成23年3~8月期における岩手県、宮城県及び福島県の転出超過数の合計は3万8031人となり、3万8000人を上回るのは昭和44年以来42年ぶり

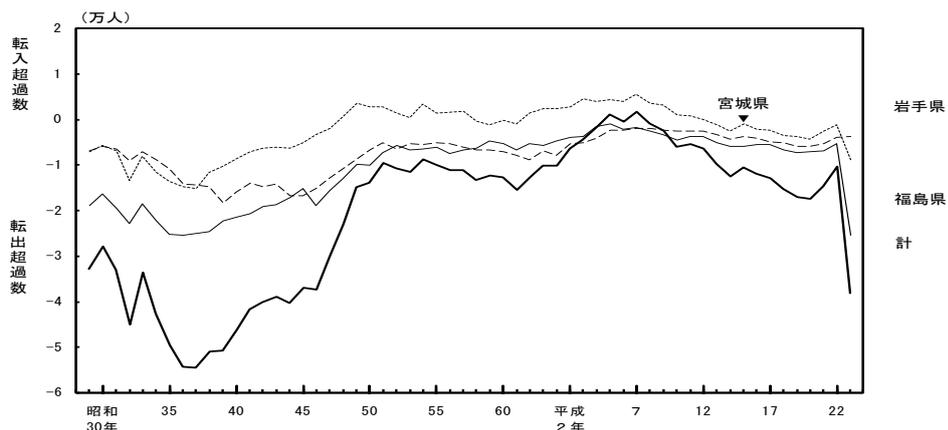
● 6~8月期は、福島県のみ転出超過、岩手県及び宮城県は転入超過に

(「結果の概要」1~2ページ)

表 岩手県、宮城県及び福島県の転入者数、転出者数及び転入・転出超過数  
(平成22年3~8月期、平成23年3~8月期)

区分		転入超過数 (-は転出超過)			転入者数				転出者数			
		平成23年	平成22年	平成22年~23年 の増減数	平成23年	平成22年	平成22年~23年 の増減		平成23年	平成22年	平成22年~23年 の増減	
							実数	率(%)			実数	率(%)
計	3~8月期	-38,031	-10,371	-27,660	56,049	60,682	-4,633	-7.6	94,080	71,053	23,027	32.4
	男	-17,075	-4,635	-12,440	32,049	34,532	-2,483	-7.2	49,124	39,167	9,957	25.4
	女	-20,956	-5,736	-15,220	24,000	26,150	-2,150	-8.2	44,956	31,886	13,070	41.0
	6~8月期	-6,279	-993	-5,286	23,682	17,827	5,855	32.8	29,961	18,820	11,141	59.2
岩手県	3~8月期	-3,761	-3,865	104	12,156	11,899	257	2.2	15,917	15,764	153	1.0
	男	-1,746	-1,625	-121	6,770	6,750	20	0.3	8,516	8,375	141	1.7
	女	-2,015	-2,240	225	5,386	5,149	237	4.6	7,401	7,389	12	0.2
	6~8月期	279	-119	398	4,863	3,574	1,289	36.1	4,584	3,693	891	24.1
宮城県	3~8月期	-8,918	-1,204	-7,714	30,579	32,239	-1,660	-5.1	39,497	33,443	6,054	18.1
	男	-4,073	-765	-3,308	17,447	18,247	-800	-4.4	21,520	19,012	2,508	13.2
	女	-4,845	-439	-4,406	13,132	13,992	-860	-6.1	17,977	14,431	3,546	24.6
	6~8月期	1,270	-241	1,511	13,478	9,142	4,336	47.4	12,208	9,383	2,825	30.1
福島県	3~8月期	-25,352	-5,302	-20,050	13,314	16,544	-3,230	-19.5	38,666	21,846	16,820	77.0
	男	-11,256	-2,245	-9,011	7,832	9,535	-1,703	-17.9	19,088	11,780	7,308	62.0
	女	-14,096	-3,057	-11,039	5,482	7,009	-1,527	-21.8	19,578	10,066	9,512	94.5
	6~8月期	-7,828	-633	-7,195	5,341	5,111	230	4.5	13,169	5,744	7,425	129.3
全国	3~8月期	0	0	0	1,507,840	1,502,103	5,737	0.4	1,507,840	1,502,103	5,737	0.4
	男	0	0	0	838,488	841,523	-3,035	-0.4	838,488	841,523	-3,035	-0.4
	女	0	0	0	669,352	660,580	8,772	1.3	669,352	660,580	8,772	1.3
	6~8月期	0	0	0	492,147	474,709	17,438	3.7	492,147	474,709	17,438	3.7

図1 岩手県、宮城県及び福島県の転入・転出超過数の推移  
(昭和29年3~8月期 ~ 平成23年3~8月期)



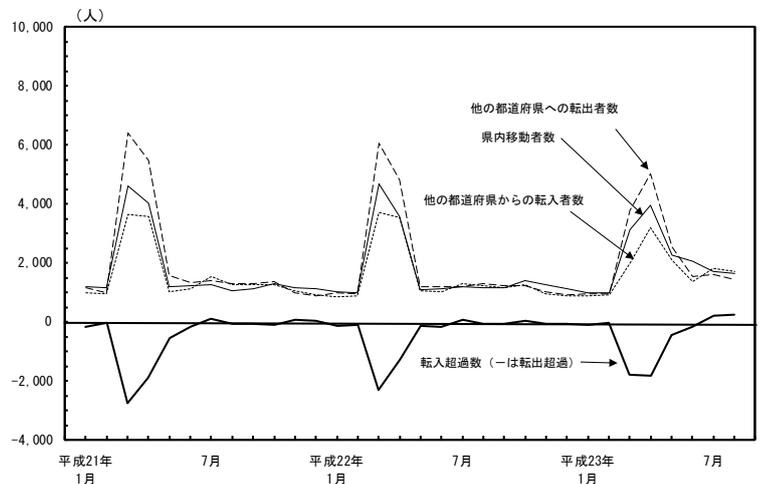
## 岩手県は平成23年7月以降転入超過

● 平成23年3～8月期における転出超過数は3761人となり、前年同期に比べて104人の増加。6～8月期は279人の転入超過

月別の推移では、3月から転出超過が続いたものの、いずれの月も例年並み。7月以降は転入超過

● 3～8月期における他の都道府県への転出者数は1万5917人、県内移動者数は1万4755人。6月以降は、県内移動者数が他の都道府県への転出者数を上回る  
(「結果の概要」3～4ページ)

図2 岩手県の転入者数、転出者数、転入・転出超過数及び県内移動者数の推移（平成21年1月～平成23年8月）



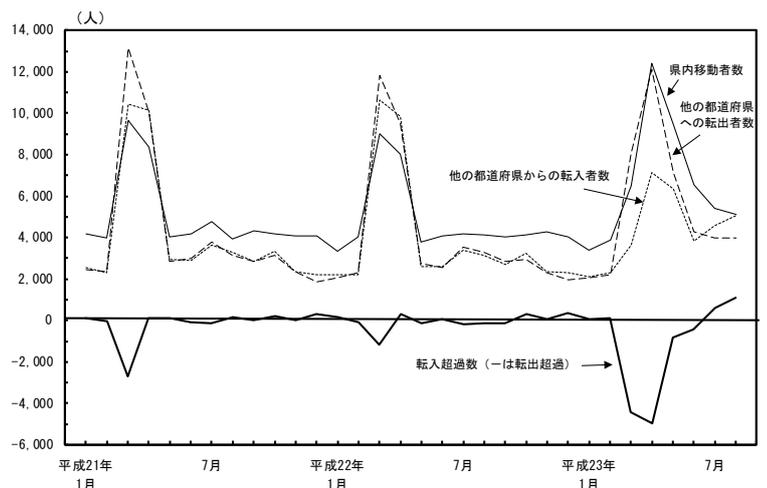
## 宮城県は岩手県と同様に平成23年7月以降転入超過

● 平成23年3～8月期における転出超過数は8918人となり、前年同期に比べて7714人の増加。6～8月期は1270人の転入超過

月別の推移では、3月及び4月は4000人台の転出超過となったものの、5月以降は減少傾向となり、7月以降は転入超過

● 3～8月期における他の都道府県への転出者数は3万9497人、県内移動者数は4万5457人。4月以降は、県内移動者数が他の都道府県への転出者数を上回る  
(「結果の概要」5～6ページ)

図3 宮城県の転入者数、転出者数、転入・転出超過数及び県内移動者数の推移（平成21年1月～平成23年8月）



福島県の平成23年6～8月期における転出超過数は、6～8月期としては統計開始以来の最大値。3～8月期における転出超過数は、0～14歳及び25～44歳で大幅な増加

● 平成23年3～8月期における転出超過数は2万5352人となり、前年同期に比べて2万50人の増加。6～8月期は7828人の転出超過となり、6～8月期の転出超過数としては昭和29年1月の統計開始以来最大

月別の推移では、他の2県と異なり、3月から大幅な転出超過が続く

● 3～8月期における転入・転出超過数を年齢5歳階級別にみると、全ての年齢区分が転出超過。特に、0～14歳は6971人の転出超過、25～44歳は8454人の転出超過となり、転出超過数は前年同期に比べて、それぞれ6720人、7921人と、大幅な増加  
 (「結果の概要」7～8ページ)

図4 福島県の転入者数、転出者数、転入・転出超過数及び県内移動者数の推移（平成21年1月～平成23年8月）

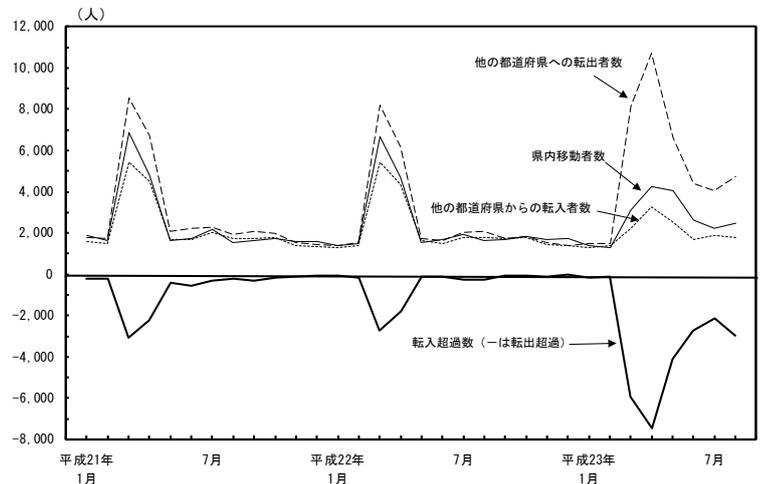
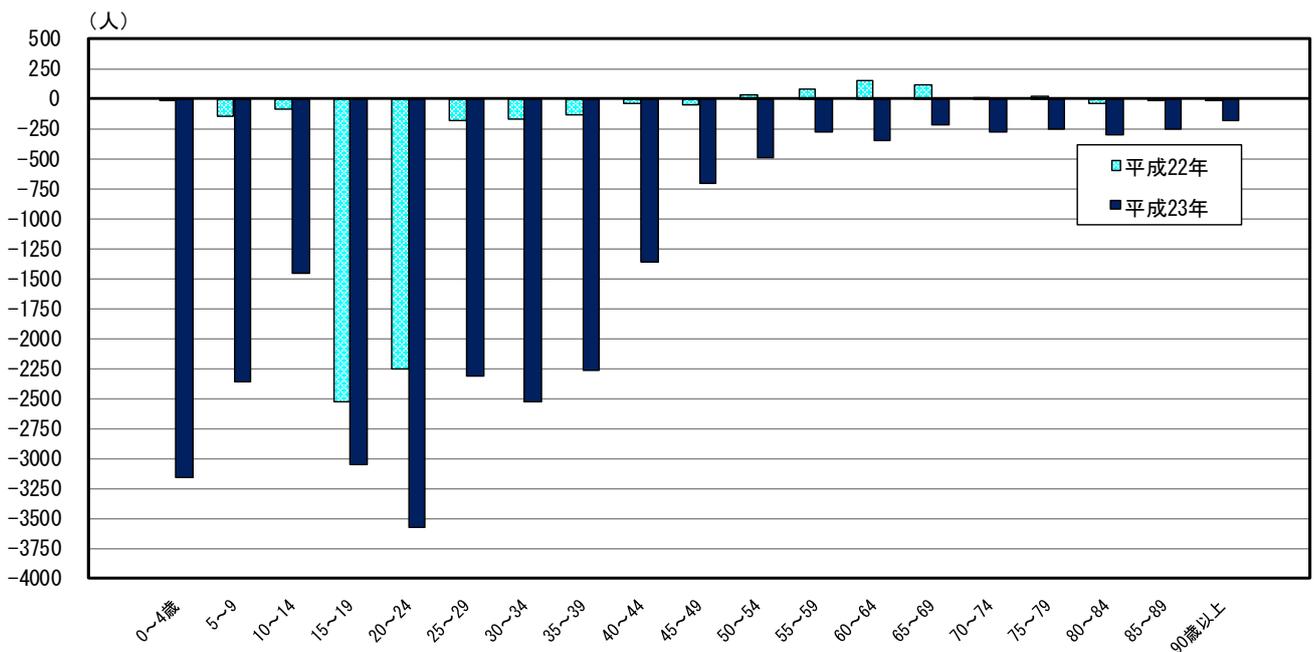


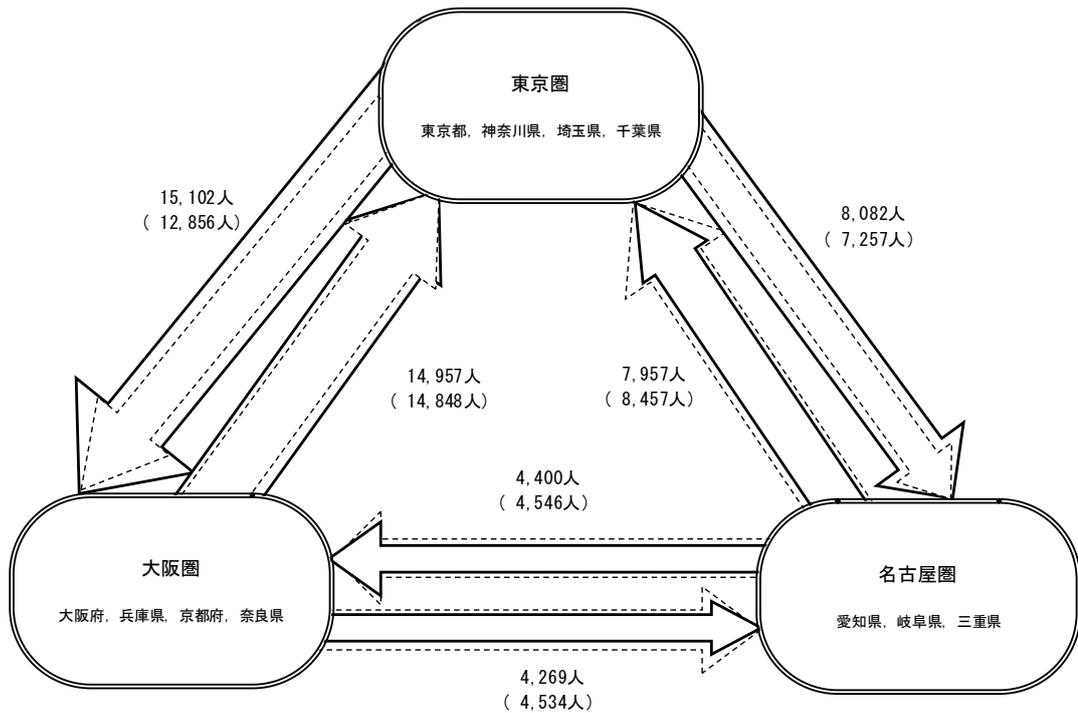
図5 福島県の年齢5歳階級別転入・転出超過数（平成22年3～8月期、平成23年3～8月期）



平成23年6～8月期において、東京圏は3～5月期の転入超過から転出超過に、名古屋圏及び大阪圏は3～5月期に引き続き転入超過

- 平成23年3～8月期における3大都市圏（東京圏、名古屋圏及び大阪圏）の転入・転出超過数をみると、東京圏は6万725人、名古屋圏は3962人、大阪圏は9610人といずれも転入超過。前年同期に比べると、東京圏の転入超過数は2万2726人の減少、名古屋圏及び大阪圏は転出超過から転入超過に転じる
- 6～8月期は、東京圏は3～5月期の転入超過から転出超過に転じ、名古屋圏及び大阪圏は3～5月期に引き続き転入超過
- 6～8月期における各都市圏からの転出者数を転出先の都市圏別にみると、前年同期に比べて東京圏から名古屋圏への転出者数は825人（11.4%）、大阪圏への転出者数は2246人（17.5%）の増加。名古屋圏から東京圏への転出者数は500人（5.9%）の減少、大阪圏から東京圏への転出者数は109人（0.7%）の増加  
（「結果の概要」9～10ページ）

図6 3大都市圏の転入・転出状況（平成22年6～8月期，平成23年6～8月期）



注1) 矢印の数字は始点側から終点側への平成23年6～8月の転出者数である。  
 注2) 点線の矢印及び（ ）内の数字は平成22年6～8月の結果である。

本報告における移動者数は、住民基本台帳法の規定により市町村に届出等のあった転入者に係る情報を集計したものである。

したがって、通常の転居等による移動者も含まれ、東日本大震災の影響を受けて被災地から避難した人に係る移動については、避難先の市町村に転入の届出があった人についてのみ、移動者として計上されている。